

うしごめ消防署だより

令和2年9月号



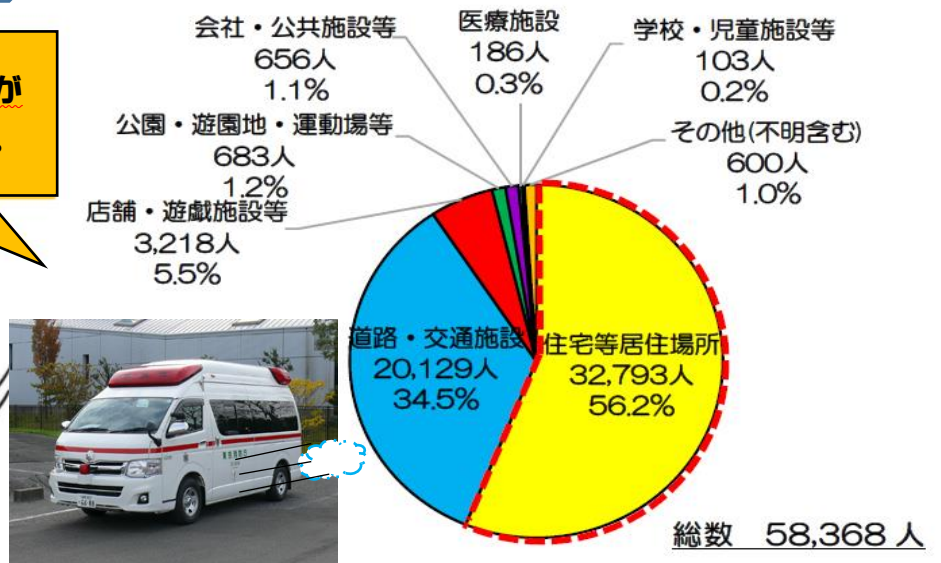
高齢者の“ころぶ事故”多発

東京消防庁管内では、平成30年中、「ころぶ事故」（ころんだ際にけがをすること）により約5万8千人の高齢者が救急搬送されています。

「ころぶ事故」は、高齢者の日常生活事故のうち約8割を占めています。

ころぶ事故の発生場所は？

「ころぶ」事故の半分以上が
家の中で発生しています。



実際に起きた高齢者のころぶ事故

〈事案1〉

一人暮らしの70代女性が、自宅内でころび、足を骨折。身動きが取れなくなり、他に連絡も取れない状態になってしまい、そのまま数日経過し、脱水状態に。

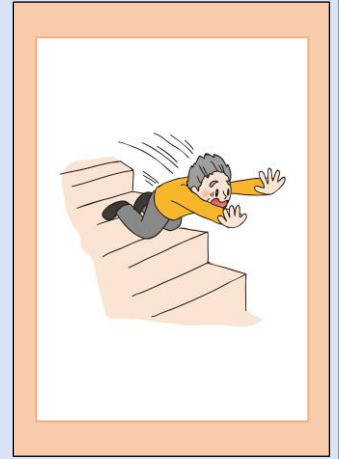
数日後、連絡が取れないと心配した友人が家を訪問し、119番通報。

〈事案2〉

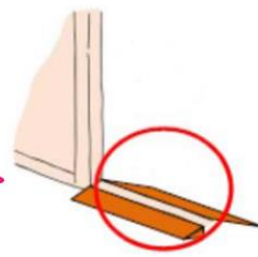
70代男性が、自宅内の段差でつまずき転倒し、顔面を強打。高血圧の持病があり、血液をサラサラにする薬を飲んでいたので、出血が止まらず救急要請。

事故をふせぐためには

- **立ち上がる**ときは、近くのものにしっかりとつかまる。
- **着替える**ときは、無理して片足立ちせずに腰かける。
- 体力を増強して、つま先を上げて**すり足を改善**する。
- **乗り物に乗り降り**する際は、足元の段差に気を付ける。
- **自転車で段差を乗り越える**ときは、急がずあわてず慎重に乗り越える。
- **エスカレーターに乗るとき**は、しっかりと手すりをつかむ。



スロープをつけて
段差を解消するのも
ひとつの方法です。



高齢者の日常生活における事故防止動画



こちらから
ご覧になれます。

屋内編

屋外編



(東京消防庁公式チャンネル YouTube 映像)

厳重警戒

引き続き熱中症にご注意を！！



令和2年牛込消防署管内の災害状況

(令和2年8月末現在)

災害種別等	件数
火災件数	21件
火災による死者	0人
火災によるけが人	3人
焼損床面積	5㎡

8月中の火災

4件 (たばこ、ガスコンロ、バッテリーなど)



お問合せ先 牛込消防署 03-3267-0119 (予防課防火管理係)